

第10期

2024.3～2025.2

2024年度

環境経営レポート



株式会社 武田組

発行 2025年5月9日

1. 組織の概要及び対象範囲

1. 事業所及び代表者名

株式会社武田組 代表取締役 武田敏光

2. 所在地

本社 〒387-0007 長野県千曲市大字屋代435-5
 屋代倉庫 〒387-0007 長野県千曲市大字屋代720
 倉科倉庫 〒387-0004 長野県千曲市大字倉科1621-3

3. 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者 土木部課長 眞弓田知浩
 環境管理事務局 総務部経理課長 池田香織
 連絡先 TEL：026-272-0754 FAX：026-273-3869

4. 事業内容

総合建設業 建築工事業、左官工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、大工工事業、屋根工事業、
 内装仕上工事業、土木工事業、石工事業、舗装工事業、塗装工事業、解体工事業、
 とび・土工事業、鋼構造物工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業
 建設業の許可 建築 一般建設業 長野県知事 許可（般一四）第3102号
 土木 特定建設業 長野県知事 許可（特一四）第3102号
 産業廃棄物 収集運搬業 長野県知事 許可 2006109077（自社施工時の収集運搬のみ）

5. 事業の規模

売上高 903,691千円（2024年度）
 資本金 3,000万円
 事務所延べ床面積 196.7㎡
 従業員数 20名

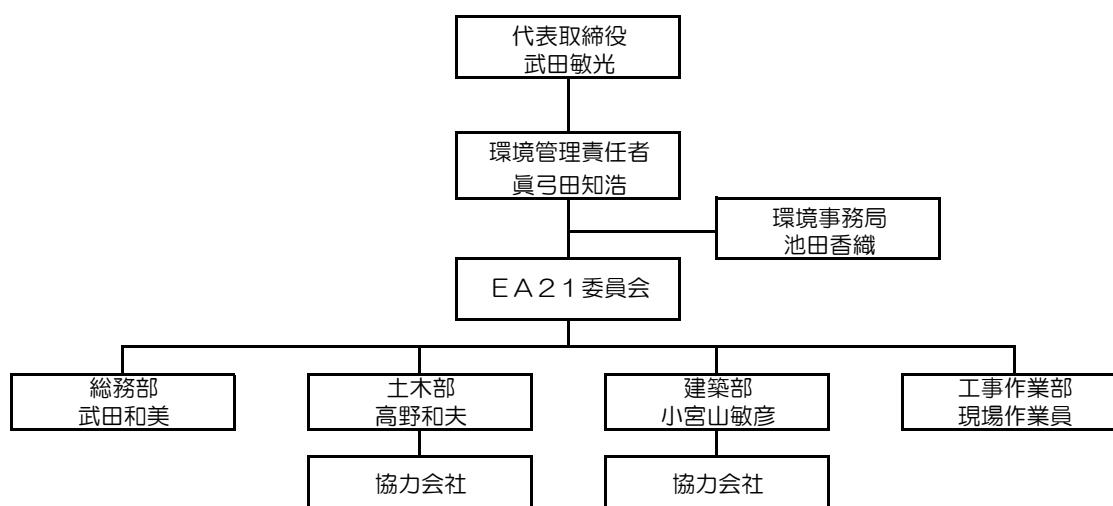
エコアクション21の対象範囲

対象範囲 （認証・登録範囲） 全組織及び全事業を対象とする

決算（事業期間／年）

3月～2月

環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表取締役	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 - 環境管理責任者を任命 - 環境経営方針の策定・見直し - 環境経営目標・環境経営計画書を承認 - 代表者による全体の評価と見直し、指示 - 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 - 環境経営目標・環境経営計画書を確認 - 環境活動の取組結果を代表者へ報告 - 環境経営レポートの確認
環境事務局	- 環境管理責任者の補佐、EA21委員会の事務局 - 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 - 環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 - 環境活動の実績集計 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 - 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
EA21委員会	- 環境経営計画の審議 - 環境活動実績の確認・評価
部門長	- 自部門における環境経営方針の周知 - 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 - 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 - 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 - 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 - 試行・訓練を実施、記録の作成 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	- 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

2. 環境経営方針

環境理念

株式会社 武田組は、建設事業を通じて、次世代に『遺産（資産）』を残すよう努めます。
「人」と「物」と「環境」の調和を大切に、地球にやさしく、全ての生命体にとって
住みやすい環境づくりを目指し、環境負荷の低減に継続的に努めます。

環境経営方針

後世に自然豊かな、よりよい環境と次世代を担うにふさわしい人や技術を残すことを念頭に、
環境に配慮した施工と人づくりに徹し、自主的に環境保全への取り組みを推進します。

環境保全への行動指針

1. 施工と人づくりに徹し、自主的に環境保全への取り組みを推進します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄物の発生抑制につとめ、建設副産物のリサイクル率の向上に努めます。
4. 水使用量の削減に努めます。
5. グリーン購入に努めます。
6. 省エネや環境に配慮した機械の導入及び、設計・施工に努めます。
7. 全社員の環境意識の向上と全社員による取り組みを図ります。
また、協力会社など関係者にも協力を求めます。
8. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。
9. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

更新日 2024年3月1日

株式会社 武田組
代表取締役 武田敏光

3. 環境経営目標(中長期)

基準、目標 項 目	単位	基準年度 2021年度実績 (2021.3～ 2022.2)	目標 2022年度 (2022.3～ 2023.2)	目標 2023年度 (2023.3～ 2024.2)	目標 2024年度 (2024.3～ 2025.2)
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	168,510	165,140 2%削減	165,140 2%削減	165,140 2%削減
① 購入電力	kWh	28,802	1%削減	1%削減	1%削減
② ガス	kg	33.5	1%削減	1%削減	1%削減
③ ガソリン	L	16,434	2%削減	2%削減	2%削減
④ 軽油	L	46,247	2%削減	2%削減	2%削減
⑤ 灯油	L	1,203	2%削減	2%削減	2%削減
一般廃棄物排出量の削減	t	0.89	1%削減	1%削減	1%削減
産業廃棄物排出量の削減	t	77.3	1%削減	1%削減	1%削減
リサイクル率 99%以上とする	%	99.0	99.0	99.0	99.0
排水量の削減	m3	52.0	1%削減	1%削減	1%削減
化学物質適正管理	※使用する場合は在庫管理をする（実績評価） 使用量の管理を適正に行い、化学物質等安全シートを取る。				
自らが施工・販売・提供する製品 及びサービス	※創意・工夫を1工事で項目ごと規定数提出する				
環境保全活動の推進	※地域環境活動へ年に3回以上参加する（実績評価）				

※2016年度の中部電力二酸化炭素調整後排出係数：0.485kg-CO2/kWh

※購入電力のうち、本社事務所電力は再生可能エネルギーを購入しています。

次年度からの経営目標

基準、目標 項 目	単位	基準年度 2022-2024年度 平均値	目標 2025年度 (2025.3～ 2026.2)	目標 2026年度 (2026.3～ 2027.2)	目標 2027年度 (2027.3～ 2028.2)
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	182,104	178,462 2%削減	178,462 2%削減	178,462 2%削減
① 購入電力	kWh	22,523	1%削減	1%削減	1%削減
② ガス	kg	44.6	1%削減	1%削減	1%削減
③ ガソリン	L	15,393	2%削減	2%削減	2%削減
④ 軽油	L	52,892	2%削減	2%削減	2%削減
⑤ 灯油	L	1,965	2%削減	2%削減	2%削減
一般廃棄物排出量の削減	t	7.31	1%削減	1%削減	1%削減
産業廃棄物排出量の削減	t	543.0	1%削減	1%削減	1%削減
リサイクル率 99%以上とする	%	98.0	99.0	99.0	99.0
排水量の削減	m3	57.2	1%削減	1%削減	1%削減
化学物質適正管理	※使用する場合は在庫管理をする（実績評価） 使用量の管理を適正に行い、化学物質等安全シートを取る。				
自らが施工・販売・提供する製品 及びサービス	※創意・工夫を1工事で項目ごと規定数提出する				
環境保全活動の推進	※地域環境活動へ年に3回以上参加する（実績評価）				

※2024年度の中部電力二酸化炭素調整後排出係数：0.439kg-CO2/kWh

※購入電力のうち、事務所電力は再生可能エネルギーを購入しています。

4. 環境経営計画

目 標				当年度活動計画
CO2排出量の削減				①～⑤
☆基準値 2021年度	☆基準値＝	168,510	kg-CO2	
2%削減	☆目標値＝	165,140	kg-CO2	
①電力使用量の削減				昼食時・不使用時消灯
				OA機器の電源OFF
☆基準値 2021年度	☆基準値＝	28,802	kWh	AC（夏季28℃・冬季20℃）
1%削減	☆目標値＝	28,514	kWh	
②ガス消費量の削減				不要な使用の禁止
				番号管理での使用者の徹底
☆基準値 2021年度	☆基準値＝	33.5	kg	
1%削減	☆目標値＝	33.2	kg	
③ガソリン消費量の削減				低炭素型建設機器の使用と購入
				エコカー車の使用と購入
☆基準値 2021年度	☆基準値＝	16,434	L	アイドリングストップ
2%削減	☆目標値＝	16,105	L	急発進・急加速の禁止
④軽油消費量の削減				空ぶかしの禁止
				定期点検の実施
☆基準値 2021年度	☆基準値＝	46,247	L	過積載の防止
2%削減	☆目標値＝	45,322	L	現場への乗合の推進
⑤灯油消費量の削減				適切な場所・時間の限定
				不在時はOFF
☆基準値 2021年度	☆基準値＝	1,203	L	
2%削減	☆目標値＝	1,179	L	
一般廃棄物排出量の削減				分別の徹底
				資源回収ゴミの把握
				リサイクルの推進
☆基準値 2021年度	☆基準値＝	0.89	t	印刷物の削減（両面コピー等）
1%削減	☆目標値＝	0.88	t	3Rの推進（発生抑制・再利用・再活用）
産業廃棄物排出量の削減				分別の徹底
				残材資材の抑制（発注者と協議）
				資機材置場・倉庫の整理・整頓
☆基準値 2021年度	☆基準値＝	77.3	t	在庫の確認
1%削減	☆目標値＝	76.5	t	3Rの推進（発生抑制・再利用・再活用）
				作業ミスによる廃棄物量の削減
				分別ボックスの配置
排水量の削減				
☆基準値 2021年度	☆基準値＝	52.0	m ³	節水の励行
1%削減	☆目標値＝	51.5	m ³	
化学物質の適正管理				使用量と管理の適正化
☆使用時に適用する（実績評価）				化学物質等安全シートをとる
公害防止・廃棄物適正処理・自然環境保全				工期短縮 計画工程の90%で施工
				マニフェストによる適正管理
環境保全活動の推進				千曲市植樹祭への参加 2回／年
				地区の堰払い清掃への参加 1回／年
☆地域環境活動へ3回以上／年参加する（実績評価）				自社での近隣道路清掃 2回／年

5. 2024年度環境経営目標の実績の評価と環境活動の取組結果、次年度の取組内容

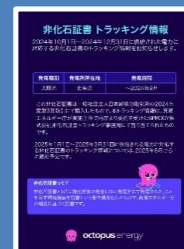
目 標			当年度活動計画	評価	達成状況と評価及び次年度の取組内容
CO2排出量の削減					【達成状況】 未達成 【改善案】 特になし。 【次年度の取組】 工事の受注状況・作業内容によって大きく左右されるが、引き続き削減及び排出しないという意識をもって取り組む。
☆目標値＝	165,140	kg-CO2	①～⑤	△	
☆実績値＝	199,061	kg-CO2			
差額	▲ 33,921	kg-CO2			
☆削減率＝	▲ 20.5	%			
①電力使用量の削減					【達成状況】 達成 【改善案】 特になし。 【次年度の取組】 工事の受注量や作業内容により大きく左右されるが、引き続き削減という意識をもって取り組む。
☆目標値＝	28,514	kWh	昼食時・不使用時消灯	○	
☆実績値＝	22,697	kWh	OA機器の電源OFF	○	
差額	5,817	kWh	ACの温度設定	○	
☆削減率＝	20.4	%			
②ガス使用量の削減					【達成状況】 未達成 【改善案】 現場使用のガスボンベのNo管理を取り入れ、きちんと管理できるようになった。 【次年度の取組】 目標未達成だが、管理体制ができより徹底できた。
☆目標値＝	33.2	kg	事務所で適切な使用	○	
☆実績値＝	44.0	kg	現場での不要な使用の禁止	○	
差額	▲ 10.8	kg	現場プロパンガスの番号管理	○	
☆削減率＝	▲ 32.5	%			
③ガソリン消費量の削減			低炭素型建設機器の使用と購入	○	
			エコカー車の使用と購入	○	
☆目標値＝	16,105	L	アイドリングストップ	○	
☆実績値＝	14,527	L	急発進・急加速の禁止	○	
差額	1,578	L	空ぶかしの禁止	○	
☆削減率＝	9.8	%	定期点検の実施	○	
			現場への乗合の推進	○	
④軽油消費量の削減					【達成状況】 未達成 【改善案】 特になし。 【次年度の取組】 工事の受注状況・作業内容によって大きく左右されるが、引き続き削減及び排出しないという意識をもって取り組む。
☆目標値＝	45,322	L	過積載の防止		
☆実績値＝	60,716	L	省エネ建設機械の導入		
差額	▲ 15,394	L			
☆削減率＝	▲ 34.0	%			
⑤灯油消費量の削減					【達成状況】 未達成 【改善案】 特になし。 【次年度の取組】 引き続き継続して取り組む。
☆目標値＝	1,179	L	適切な場所・時間の限定	○	
☆実績値＝	1,460	L	不在時はOFF	○	
差額	▲ 281	L			
☆削減率＝	▲ 23.8	%			

目 標			当年度活動計画	評価	達成状況と評価及び 次年度の取組内容
一般廃棄物排出量の削減			分別の徹底	◎	【達成状況】 達成 【改善案】 特になし。 【次年度の取組】 引き続き継続して取り組む。
☆目標値＝	0.880	t	資源回収ゴミの把握	◎	
☆実績値＝	0.724	t	リサイクルの推進	◎	
差額	0.156	t	印刷物の削減（両面コピー等）	○	
☆削減率＝	17.7	%	3Rの推進（発生抑制・再使用・再利用）	○	
産業廃棄物排出量の削減			分別の徹底	◎	【達成状況】 達成 【改善案】 特になし。 【次年度の取組】 工事種別により廃棄量が大きく変わるが、残材が残らないよう徹底し、3Rの推進を図るよう、今後も継続して取り組む。
☆目標値＝	76.50	t	残材資材の抑制（発注者と協議）	○	
☆実績値＝	34.32	t	資機材置場・倉庫の整理・整頓	○	
差額	42.19	t	在庫の確認	○	
☆削減率＝	55.1	%	3Rの推進（発生抑制・再使用・再利用）	◎	
			作業ミスによる廃棄物量の削減	○	
			分別ボックスの配置	◎	
排水量の削減					【達成状況】 達成 【改善案】 特になし。 【次年度の取組】 引き続き継続して取り組む。
☆目標値＝	51.5	m ³	節水の励行	○	
☆実績値＝	40.0	m ³			
差額	11.5	m ³			
☆削減率＝	22.3	%			
化学物質の適正管理					化学物質を使用することはほとんどないが、使用する場合は化学物質安全シートを取得し、使用量・保管場所などについて徹底した管理に努める。
☆使用時に適用（実績評価）			使用量と管理の適正化	—	
			化学物質等安全シートをとる	—	
自らが施工・販売・提供する製品及びサービス					【達成状況】 創意工夫を熟考した結果、県・市発注の公共事業において工事成績のアップにつながった。 【改善案】 総合評価で高い受注ができるよう、取り組みを検討する。 【次年度の取組】 引き続き継続して取り組む。
☆創意・工夫を1工事で12項目以上提出（実績評価）			創意工夫7項目	○	
			社会性5項目	○	
公害防止・廃棄物適正処理・自然環境保全					【達成状況】 計画工程の90%以内の工期で施工を完了させることができた。工程を短縮することで環境にも配慮でき、コスト削減にもつながった。 【改善案】 特になし。 【次年度の取組】 引き続き継続して取り組む。
☆計画工程の90%で施工（実績評価）			工程管理計画の90%で実施	◎	
☆マニフェストによる適正管理（実績評価）			マニフェストによる適正管理	◎	
			電子マニフェストの運用	○	
環境保全活動の推進			千曲市植樹祭への参加 2回/年	○	【達成状況】 市や区などの地域の環境活動に積極的に取り組んだ。また、決められた活動とは別に道路清掃・側溝清掃を実施した。 【改善案】 特になし。 【次年度の取組】 引き続き継続し、地域のために活動する。
☆地域環境活動へ3回以上/年参加（実績評価）			地区の堰払い清掃への参加 1回/年	○	
			自社での近隣道路清掃 2回/年	○	
			自社での近隣除雪作業 随時	○	

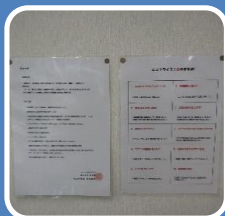
活動実施状況



※再生可能エネルギーの購入
本社事務所の電力は
再生可能エネルギーを購入



※節電・節水の喚起（継続）
休み時間の消灯の実施。
エアコンの適正温度の実施



※エコドライブ運動（継続）
朝礼時、社員・現場作業員に注意喚起した



※現場及び会社裏での廃棄物分別の徹底
わかりやすいように大きく表示



※環境配慮型建設機械の使用
すべての現場に環境配慮型の機械を導入



6. 環境関連法規等の遵守状況及び外部からの苦情等の受付状況

1. 当社に適用される環境関連法規の遵守状況

当社における環境関連法規は下記の通りです。環境管理責任者が中心となり、環境関連法規及び条例等の遵守を確認した結果、違反等はありませんでした。

環境関連法規等・内容（別記を含む）

NO	主な法規等	主な内容	チェック欄
1	オフロード法	基準適合表示等が付された特定特殊自動車の使用	遵守
2	騒音規制法	特定建設作業	遵守
3	振動規制法	特定建設作業	遵守
4	低騒音型・低振動型建設機械指定制度（国土交通省）	騒音・振動が相当程度軽減された建設機械の指定と使用	遵守
5	資源有効利用促進法	再生資源の利用に関する判断の基準 指定副産物に係る再生資源の利用の促進に関する判断の基準	遵守
6	建設リサイクル法	対象建設工事について、分別解体等及び再資源化等の義務付け 分別解体等及び再資源化等の実施を確保するための必要事項	遵守
7	廃棄物処理法	廃棄物の排出抑制、適正処理（多量排出事業者）	遵守
8	道路交通法・道路法	道路使用許可、過積載の防止	遵守
9	廃棄物の適正な処理の確保に関する条例（長野県）	廃棄物の適正処理の確保	遵守
10	フロン排出抑制法	第一種特定製品の管理者の判断の基準 フロン類の放出の禁止 廃棄等（フロン類引渡の委託と記録の保存）	該当なし

7. 代表者による全体の評価と見直し・指示

見直しに必要な情報			変更の必要の有無・指示事項
環境管理責任者の報告		環境管理責任者のコメント	
【取組状況の評価結果】		【環境経営方針】	【環境経営方針】 【環境経営目標】 【実施体制】
① 環境関連法規等の遵守状況		・現場への乗り合い・アイドリングストップにより二酸化炭素排出量削減への取組みとして大きな効果が得られた。	なし
② 是正及び予防処置の状況		・車両破損等の軽微な事故の報告が漏れている場合があったので、事故が起きた時には日報で報告するよう周知徹底する。	どんなに小さな破損・事故であっても必ず会社に報告することを義務とする。
【目標・環境活動計画の達成状況】		【目標・環境活動・実施体制】	
① 電力の削減	○	継続（会社：再生可能エネルギーの購入） （現場：作業内容で大きく影響）	特になし
② ガスの削減	△	継続（会社：徹底ができています） （現場：ガスボンベの紛失に注意）	特になし
③ ガソリンの削減	○	継続（会社：削減ができています） （現場：現場までの距離によっても影響が出る）	特になし
④ 軽油の削減	△	継続（現場：作業内容、重機使用量で大きく影響）	特になし
⑤ 灯油の削減	△	継続（会社：削減ができています） （現場：現場事務所の設置数に左右される）	特になし
⑥ 一般廃棄物の削減	○	継続 より徹底した分別ができ、 社員の分別意識が向上した	特になし
⑦ 産業廃棄物の削減	○	継続 工事内容により大きく変動する 今年度は大きな舗装工事が無かったので大きく削減となった	電子マニフェスト運用による効率化
⑧ 排水の削減	○	継続 引き続き取り組み	特になし
⑨ 環境保全活動	○	継続 協同の取り組みへの参加ができた	長野県SDGs推進企業としての取組
【周囲の変化状況】		【その他】	※次頁参照
① 外部コミュニケーション		軽油・ガソリン・灯油においては、作業期間・作業場所・作業内容で大きく変わるが、代理人を中心とし作業効率及び工期の短縮を含め最小限にとどめるよう努めた。また、本社及び現場での分別の徹底、製品の再利用等の3Rの取り組みも出来た。	売上高、CO2、原単位の推移は、必ずしも売上高に比例するわけではない。 やはり工事の作業内容・重機使用による変動が大きいことがわかる。
② 環境関連法規制等の動向 他			

・代表者からのコメント

ガス、軽油、灯油の削減が未達成でしたが、ガソリンも含めて受注する工事内容・場所に大きく左右されるので、想定内でした。

またその中でも、社員ひとりひとりに削減の意識を持ち、取り組む努力をしていただきました。

近年の異常気象や、燃料・資材の高騰などでCO2削減の目標達成は厳しいと思いますが、引き続き取り組みをお願いします。

・環境管理者責任者、担当者への提言

・燃料及び資材の高騰による、収益への影響が大きいです。

より徹底した資材の手配、在庫管理を実施してください。

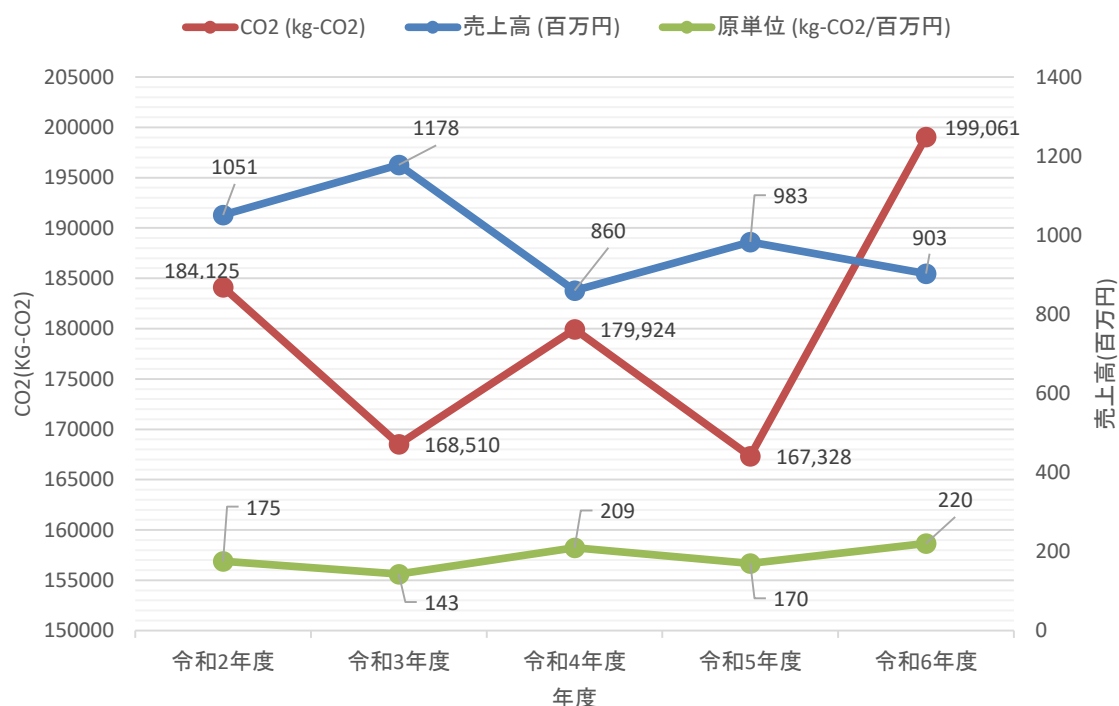
・言われて行うのではなく、自らできる人になるように各現場で教育をお願いします。

2025年3月31日

代表取締役 武田敏光

8. 売上高と二酸化炭素排出量・原単位の推移、ガソリン・軽油使用料

売上高と原単位の推移



ガソリン・軽油使用量 ℓ

